

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第4学年 A組～ 組
 教科担当者：（A組：澤本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（『新編 文学国語』（大修館書店））

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A単元 心を見つめる 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が大切に考えていることを読み取り、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文体の特徴や表現に注目しながら本文を読み味わい、筆者のメッセージを読み取る。	・「飛ぶことを知っている魂」（梨木香歩） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文体の特徴や表現に注目しながら本文を読み味わい、筆者のメッセージを読み取るようとしている。	○	○	○	5
B単元 心を見つめる 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって、随想を批評する活動を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。	・「クルミの小部屋」（河野裕子） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって、随想を批評する活動を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することに向けて、粘り強く自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
C単元 古典の世界4 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉える。	・「桐壺」「源氏物語」 ・「若紫」「源氏物語」 ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○		○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
D単元 文化を感じる 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもち、作品を解釈する活動を通して、自然に対するものの見方や感じ方、考え方を深めることに向けて取り組む。	・「夏の月」（高階秀爾） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○		○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもち、作品を解釈する活動を通して、自然に対するものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	6
E単元 小説を楽しむ(二) 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取る。	・「待合室」（内海隆一郎） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取るようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

2 学 期	<p>F単元 名作を読む(二)</p> <p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの の 見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関 する考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」(夏目漱石) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用 	○	○	○	○	○	○	13		
	定期考査								○	○	1
	<p>G単元 小説を楽しむ(二)</p> <p>【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で 使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価する ことを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら 内容を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おぼろ月」(藤沢周平) ・教科書、授業プリント ・ICTの活用 	○	○	○	○	○	○	○	8	
<p>H単元 文化を感じる</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質につ いて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの の 見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 短歌の分析を通して、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自 然などに対するもの の見方、感じ方、考え方を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「共感と驚異」(穂村弘) ・教科書、授業プリント ・ICTの活用 	○	○	○	○	○	○	○	6		
定期考査									○	○	1
3 学 期	<p>I単元 小説を味わう</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解 を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について 考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の心情の変化を読みとることを通し て、この作品の寓意を読み味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「離さない」(川上弘美) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用 	○	○	○	○	○	○	○	6	
	<p>J単元 小説を味わう</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解 を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について 考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、話しのおもしろさや、そこに込められた寓意を 読み味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「山椒魚」(井伏鱒二) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用 	○	○	○	○	○	○	○	7	
	<p>K単元 古典の世界</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質につ いて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的 確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味を持ち、自分と比較しながら作者の感性を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「能登殿最後」[平家物語] ・「四面楚歌」[史記] ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用 	○	○	○	○	○	○	○	4	
定期考査									○	○	1
										合計	
										78	

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 公民科 科目 政治・経済

教科：公民科 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組～A組

教科担当者：（A組：川田）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（高等学校 政治・経済（実教出版））

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、論理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べよめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会歩調を視野に入れたら構築したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して認識される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自覚を促し、その平和と繁栄を築くことや、各論が相互に主権を尊重し、各論が協力し合うことの大前提としての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念などについて理解する。 ②諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べよめる技能を身に付けさせる。	①国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる 考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するする能力を養わせる。 ②判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断する力を養わせる。	①現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ②多面的・多角的な考察や深い理解を通じて、公民として、自覚を養い、その平和と繁栄を築くことや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、積極的な役割を果たそうとする自覚を深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	現代民主主義と日本の政治 【知識及び技能】 民主主義に関する基本的な概念・知識を学び、日本国憲法と諸権利、安全保障、日本の政治制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義に関する基本的な概念・知識を基に、日本国憲法と諸権利、安全保障、日本の政治制度について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国民主権を担う公民として現代の日本や国際関係に対して、積極的に問を見出し、追求する。	・指導事項 民主政治の基本原則 日本国憲法と諸権利 安全保障問題と平和主義 日本の政治制度	現代民主主義と日本の政治 【知識及び技能】 民主主義に関する基本的な概念・知識を学び、日本国憲法と諸権利、安全保障、日本の政治制度について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義に関する基本的な概念・知識を基に、日本国憲法と諸権利、安全保障、日本の政治制度について多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国民主権を担う公民として現代の日本や国際関係に対して、積極的に問を見出し、追求できている。	○	○	○	10
	現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動の基本的な概念・知識を学び、市場や企業の役割、経済成長や金融、租税、日本経済の諸課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動の基本的な概念・知識を基に、市場や企業の役割、経済成長や金融、租税、日本経済の諸課題について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の経済や金融の仕組みや日本・世界経済の諸課題について積極的に問を見出し、追求している。	・指導事項 経済活動の基本原則 市場の働き 経済成長と国民の福祉 金融 日本銀行の役割と租税 日本財政の諸課題	【知識・技能】 経済活動の基本的な概念・知識を学び、市場や企業の役割、経済成長や金融、租税、日本経済の諸課題について理解できている。 【思考・判断・表現】 経済活動の基本的な概念・知識を基に、市場や企業の役割、経済成長や金融、租税、日本経済の諸課題について多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の経済や金融の仕組みや日本・世界経済の諸課題について積極的に問を見出し、追求している。	○	○	○	15
2 学 期	現代日本の諸課題について 【知識及び技能】 現代の国際社会が形成される過程や、そこから生み出された基本原則、国際連合、人権問題、国際安全保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際社会が形成される過程や、そこから生み出された基本原則、国際連合、人権問題、国際安全保障について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治の在り方に対する問や、日本と国際政治とのかわりについて、問を見出し積極的に追求する。	・指導事項 国際社会と国際法 国際連合と国際社会 現代の国際政治 人権問題 軍拡・軍縮の流れ 日本と国際社会とのかわり	現代日本の諸課題について 【知識及び技能】 現代の国際社会が形成される過程や、そこから生み出された基本原則、国際連合、人権問題、国際安全保障について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際社会が形成される過程や、そこから生み出された基本原則、国際連合、人権問題、国際安全保障について、多面的・多角的に考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治の在り方に対する問や、日本と国際政治とのかわりについて、問を見出し積極的に追求できている。				14
	現代の国際政治 【知識及び技能】 現代の国際社会を理解するための基本的な国際関係や国際法、国際社会の変化、国際連合、人種・民族、軍拡・軍縮、平和主義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際社会を理解するための基本的な国際関係や国際法、国際社会の変化、国際連合、人種・民族、軍拡・軍縮、平和主義について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の成り立ちや、現代の国際関係について問を見出し、積極的に追求しようとする。	・指導事項 現代の国際社会と国際法 国際社会の変化 国際連合と国際協力 今日の国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 日本の外交と国際社会での役割	【知識・技能】 現代の国際社会を理解するための基本的な国際関係や国際法、国際社会の変化、国際連合、人種・民族、軍拡・軍縮、平和主義について理解できている。 【思考・判断・表現】 現代の国際社会を理解するための基本的な国際関係や国際法、国際社会の変化、国際連合、人種・民族、軍拡・軍縮、平和主義について、多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会の成り立ちや、現代の国際関係について問を見出し、積極的に追求しようとする。				17

3 学 期	<p>現代の国際経済</p> <p>【知識及び技能】 基本的な国際貿易論と外国為替に関する概念・知識を中心とし、第二次世界大戦以降の貿易、グローバル化、エネルギー問題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基本的な国際貿易論と外国為替に関する概念・知識を中心とし、第二次世界大戦以降の貿易、グローバル化、エネルギー問題について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際貿易が現代の国際関係に与える影響など、現代の諸課題との関連から問を見出し、積極的に追求する。</p>	<p>・指導事項 貿易と国際収支 外国為替市場の仕組み 第二次世界大戦以降の国際経済 新興国の台頭 経済のグローバル化 途上国の課題 資源問題</p>	<p>【知識・技能】 基本的な国際貿易論と外国為替に関する概念・知識を中心とし、第二次世界大戦以降の貿易、グローバル化、エネルギー問題について理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 基本的な国際貿易論と外国為替に関する概念・知識を中心とし、第二次世界大戦以降の貿易、グローバル化、エネルギー問題について多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際貿易が現代の国際関係に与える影響など、現代の諸課題との関連から問を見出し、積極的に追求できている。</p>				12
	<p>国際社会における諸課題の探求</p> <p>【知識及び技能】 現代国際社会における難民問題や、外国人労働者、エネルギー問題、国際経済の格差、持続可能な平和の在り方などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代国際社会における難民問題や、外国人労働者、エネルギー問題、国際経済の格差、持続可能な平和の在り方などについて多角的・多面的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際的な諸課題に対する、解決方法等について極的に追求する。</p>	<p>・指導事項 国際社会の難民問題 外国人労働者と移民問題 地球環境・資源エネルギー問題 国際経済格差の是正と国際協力 持続可能な平和の在り方</p>	<p>【知識・技能】 現代国際社会における難民問題や、外国人労働者、エネルギー問題、国際経済の格差、持続可能な平和の在り方などについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代国際社会における難民問題や、外国人労働者、エネルギー問題、国際経済の格差、持続可能な平和の在り方などについて多角的・多面的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際的な諸課題に対する、解決方法等について極的に追求する。</p>				10
							合計
							78

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位
 対象学年組：第4学年 組～組
 教科担当者：（A組：松澤（組：）（組：）（組：）（組：）（組：））
 使用教科書：（現代高等保健体育）

- 教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能および健康・安全について理解できるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】手軽な運動を行い、心と身体は互いに影響し変化することを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助け合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きを大切にすることができる。	○体づくり運動 ・体幹トレーニング ・ストレッチ ・筋力トレーニング	【知識・技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための運動の行いについて言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	B 卓球 【知識及び技能】ラリーの中で状況に応じて打ち返す位置を変化させたり、相手の打った球に応じて適切に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を思いやり、相手のベースに合わせた球を返すことができる。	○卓球 ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】球を相手側のコートの守備のない空間に強弱や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、改善するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、相手を思いやる行動をしている。	○	○	○	10
	C バドミントン 【知識及び技能】状況に応じたラケット操作によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする。	○バドミントン ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】シャトルを相手側のコートの守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】仲間や自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	10
	D 体育理論 【知識及び技能】スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通してスポーツを継続するとともに明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○体育理論 ・文化としてのスポーツ ・スポーツにおける技能と体力	【知識・技能】仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	8
	E バレーボール 【知識及び技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】チームや自己の課題を発見し、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。	○バレーボール ・パスの種類について ・サーブについて ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。				12

2 学 期	F テニス 【知識及び技能】ラリーの中で状況に応じて打ち返す位置を変化させたり、相手の打った球に応じて適切に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を思いやり、相手のペースに合わせた球を返すことができる。	○テニス ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】球を相手側のコートの手前の広い空間に強弱や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、改善するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、相手を思いやる行動をしている。				12
	G バスケットボール 【知識及び技能】チームや自己の課題を解決したり勝敗を競ったりするなど仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】パスやシュートの種類について理解を深め、その場に適した状況判断をしている。 【学びに向かう力、人間性等】仲間の良さを認め、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○バスケットボール ・パス、シュートの種類について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】味方が取りやすいパスを出したり、空間に走りこんだりして得点につながる動きをしている。 【思考・判断・表現】適切な状況判断をするために、仲間の動きや相手の動きをよく見て考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】チームに貢献し、フェアなプレイを大切にしようとしている。				12
3 学 期	H アルティメット 【知識及び技能】ディスクの扱いに慣れ、自分の投げたいところに投げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】パスの名称を覚えるとともに、ルールや名称について言ったり書きだしたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助言し合うなど、相手を思いやる行動をしている。	○アルティメット ・ディスクの持ち方について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】状況に応じてパスを使い分け、空間に走りこむなどして得点につながる動きをしている。 【思考・判断・表現】ルールを正しく理解したうえで状況判断をしながらプレーしている。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に助言するなど協力的に行動し、フェアなプレイを大切にしている。				14
						合計	78

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅱ

教科： 情報

科目： 情報Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年

教科担当者： （ 菊池 信隆 ）

使用教科書： （ 実教出版 情報Ⅱ ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 アルゴリズムと基本構造	1 アルゴリズムとは 2 アルゴリズムの基本構造	・アルゴリズムの基本やフローチャート(流れ図)について理解したか。	○	○	○	7
	2 プログラムの基礎(1)	1 簡単なプログラムの作成(VBA) 2 プログラムと変数	・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を理解できたか。 ・プログラムにおける変数の役割について理解したか。	○	○	○	9
	定期考査						1
	3 プログラムの基礎(2)	1 順次探索 2 二分探索	・順次探索について理解したか。 ・二分探索について理解したか。	○	○	○	10
	4 プログラムの応用	1 配列とリスト 2 関数	・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る方法について理解できたか。	○	○	○	5
	定期考査					1	

2 学期	5 モデル化	1 モデルとは 2 モデル化(図的モデル)	・モデル化の手順や分類について理解できたか。 ・図的モデルの表現方法、簡単な自動販売機の動作をモデル化する方法を理解できたか。	○	○	○	7
	6 シミュレーション	1 シミュレーションとは 2 シミュレーション(確定的モデル) 3 シミュレーション(確率的モデル)	・シミュレーションの手順と注意点について理解できたか。 ・確定的モデル、確率的モデルをシミュレーションするための手順について理解できたか。	○	○	○	9
	定期考査						1
	7 データの活用	1 データの収集 2 データの分析	・データの種類と、データの活用の手順や方法について理解できたか。 ・データの尺度水準、ビッグデータとデータマイニングについて理解できたか。 ・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について理解できたか。	○	○	○	9
	8 ネットワークの仕組み	1 ネットワークの構成とプロトコル 2 インターネットの仕組み	・ネットワークとその構成について理解できたか。 ・インターネットに接続する機器の概要について理解できたか。 ・通信規約の役割について理解できたか。 ・IPアドレスや、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、DNS、HTMLについて理解できたか。	○	○	○	5
定期考査						1	
3 学期	9 情報システムとサービス	1 さまざまな情報システム 2 データの流れと情報システム 3 データベースとデータモデル	・インターネットで提供されるサービスとその活用について理解できたか。 ・GPSを使ったサービスについて理解できたか。 ・データベースの意味と役割、リレーショナル型データベースの機能について理解できたか。 ・データモデルの違いと活用例について理解できたか。	○	○	○	4
	10 情報セキュリティ	1 情報セキュリティと対策 2 暗号技術	・情報の安全を守るために、組織が行っている情報セキュリティ対策について理解できたか。 ・情報セキュリティの3要素(機密性、安全性、可用性)について理解できたか。 ・情報セキュリティを確保するための対策(ファイアウォールの意味やアクセス制御など)について理解できたか。 ・暗号化を活用した技術について理解できたか。 ・暗号化の技術とデジタル署名について理解できたか。 ・デジタル署名や認証局について理解できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
合計							78

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 商業 科目 ビジネス基礎

教科：商業

科目：ビジネス基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第4学年

教科担当者：（菊池 信隆）

使用教科書：

（『ビジネス基礎 新訂版』（実教出版））

教科 商業

の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネス基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ	商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解する。	・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解している。	○		○	9
2. 私たちの社会とビジネス	ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学ぶ。 実践する力、職業人として必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付ける。	・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	12
定期考査						0
1 学期 第2章 ビジネスとコミュニケーション 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用	ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学ぶ。 ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付ける。 企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行う。	・ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。 ・情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	11
第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通	経済の仕組みと流通の必要性について理解する。 経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考える。 流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	5
定期考査						1

2 学 期	第4章 さまざまなビジネス(1) 1. ビジネスの種類 2. 小売業	ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学ぶ。 流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。	・ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	○	○	○	9
	さまざまなビジネス(2) 3. 卸売業 4. 物流業 5. 金融業 6. 情報通信業	流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身に付ける。	・流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査						0
	第5章 企業活動の基礎 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用	企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学ぶ。 企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。 企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順 2. 代金決済	売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学ぶ。 取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考える。 契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	・取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5
定期考査						1	
3 学 期	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	ビジネス計算に関する知識や技術を学ぶ。 ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	・ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	<授業終了>						
	定期考査						1
合計							78

令和8年度「総合的な探究の時間」の全体計画

1 「総合的な探究の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

第2学年『総合（探究）』	第3学年『総合（探究）』	第4学年『総合（探究）』
--------------	--------------	--------------

2 学校の教育目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 学問を愛し、真理を探究する精神を養い、生涯を通し知性の向上に努めさせる。 ② 情操を養い、明朗で清純な品性と礼節ある態度を培う。 ③ 正義と平和を愛し、心身ともに健全で実行力のある人間を育成する。 ④ 個性を伸長し、自主的精神を培うとともに、自己の社会性を自覚させる。 |
|---|

3 各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。 ② 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に創造的に取り組む態度を育て、己の在り方・生き方を考える。 |
|---|

4 生徒・学校・地域の実態

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 本校在校生は、義務教育期の不登校経験者が多い。だからこそ学び方やものの考え方を身に付け、主体的創造的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力を育みたいと願っている。 ② 地域・保護者は、本校を丁寧な生活指導を実施する学校と認知し、入学後は心身ともに健康で望ましい生活習慣を育成して欲しいと願っている。 |
|--|

5 指導体制（実施学年ごとに記入する）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 週時程への位置付け方（曜日・校時）及び授業時間数、単位数 <ul style="list-style-type: none"> 2 学年 金曜日・3校時 1 単位時間45分とし、39 単位時間 3 学年 金曜日・3校時 1 単位時間45分とし、39 単位時間 4 学年 金曜日・3校時 1 単位時間45分とし、39 単位時間 ② 授業時間確保の方法 特定の期間に集中して実施しない。 ③ 校内の指導組織 <ul style="list-style-type: none"> 2 学年2人、3 学年2人、4 学年2人、計6人の専任教員で担当する。 ④ 学習の評価 <ul style="list-style-type: none"> 2 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。 3 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。 4 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。 ⑤ 評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 2 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。 3 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。 4 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。 |
|---|

6 育てようとする資質や能力及び態度

- ① 基礎基本を重視し、学び方やものの考え方を習得することを通して社会の状況に応じてその力を活用する。
- ② 横断的探究的学習を通して、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。
- ③ 自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

<学習対象>

- ① 『総合（探究）』第2学年
 - 1 学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座。社会への貢献と進路選択について探究する。
- ② 『総合（探究）』第3学年
 - 1・2 学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座。社会への貢献と進路選択について探究する。
- ③ 『総合（探究）』第4学年
 - 1・2・3 学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座。社会への貢献と進路選択について探究する。

<学習事項>

- 興味関心を見出し、進路に応じた課題に取り組み、自ら学び考える資質や能力を育む。調査研究結果の発表、進路選択の方法

8 学習活動

- ① 第2、3、4 学年『総合（探究）』

生徒自身が課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また進路について考えることや、職業について考えるために横断的・総合的な講座に取り組み、自己の在り方・生き方を探究する。

9 指導方法

協働的な学習の充実を図り、一人1 台端末を利用するなど情報活用能力・生成 AI の活用能力の育成に向け、個に応じた指導ができるように少人数構成にしている。

10 各教科等との関連

- ① 【国語】言葉による見方や考え方を、授業でレポート作成とともに学習していく。
- ② 【地歴・公民】地域の様々な文化や歴史を理解し、地歴総合の授業で学習していく。また、民主的な考え方や社会とのかかわりについて、公民の授業で学習していく。
- ③ 【保健体育】生涯を通じる健康の考え方や労働についてなどを、保健体育の授業で学習していく。
- ④ 【家庭】生活の営みに係る見方・考え方や具体的な消費生活などを、家庭の授業で学習していく。
- ⑤ 各教科で学習したことを基礎として、人格の完成や社会生活に活かしていくことを総合的な探求の時間につなげる。定期的に検証を加え授業力向上の校内研修を実施する。

11 外部との連携

- ① 本校ホームページを活用して地域・保護者に広報し、年間1 回の授業参観及び研究協議会を実施する。
- ② 城北中央公園管理センターとの連携を図る。

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(4学年)

1 単位時間の時間 (45) 分 『総合的な探究の時間』

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	事前指導 課題設定	講座内容・評価方法の説明 1、2、3学年の成果を踏まえ、新たな取り組む課題を設定させる。	出席、意欲などを総合的に評価	2
	5	身の回りの地域について考える。	自分たち学校周辺について、継続して情報を収集し整理・分析し自己の考えを深化させる。		3
	6	社会貢献について考える。	身の回りの地域に対して継続して社会貢献について考え、自己の考えを深化させる。		2
		ガイダンス	調べ方ガイダンス・課題設定		2
	7	調査・研究	設定した自己の課題について調査・研究を行う。		3
2	9	調査・研究	設定した自己の課題について調査・研究を行う。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	3
	10	調査・研究	A4版に研究内容の概略をまとめる。		4
	11	研究論文作成	研究論文を作成する。		5
	12	研究論文作成	研究論文を作成する。		4
3	1	研究発表	研究論文の作成及び発表。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	4
	2	振り返り	振り返りを行い、自己の取り組みの確認を行う。		4
	3	課題の設定	1年間の取り組みをまとめ、次の課題を設定する。		3
配当時間数の合計					39